

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	優			
○保護者評価実施期間	2024年 5月 2日 ～ 2024年 6月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	2024年6月 1日 ～ 2024年6月 25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年6月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が自由に楽しく過ごせる場を提供し、出来なかった事・苦手と感じていた事を出来た！！という喜びに変えていけるような環境が整っている。	子ども達が自分達で遊びを考えてどの児童とも良好な関係を築き自分達の意見をしっかりと伝えられるようになるために日々の活動の中でグループワディスカッションを行いながら自分の気持ちを上手く相手に伝えていけるような取り組みを行う事で対人関係を学べるように支援している。	子ども達主体の活動を子ども達自身で考えて遊びや活動に取り組んでいけるようになり、色々な事を策案出来るようにしていきたい。
2	子ども達のやってみたい！という気持ちを尊重し、叶えられる環境作りを提供している。	子ども達の想像力を発揮できるように身近にあるものを用いて色々な取り組みに挑戦していけるように支援している。	もっと大胆に色々な事を体験できるように全身を思い切り使って楽しみながら行える活動や遊びを取り入れていきたい。
3	子ども達が自由にのびのびを過ごせるように職員も子どもに寄り添える環境作りを行っている。	元気いっぱい子ども達と一緒に少しの時間でも近くの公園に行き一緒にドッジボールをしたりサッカーやバトミントンをする事で子ども達が親近感を持ってくれるように！と意識しながら支援しています。	来所時間に差があり一緒に公園に行けない児童もいるため活動時間を調整したりしながら出来るだけみんなと一緒に体を動かす時間を作って行きたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他デイと交流する機会や相談支援員さんとの繋がりが薄い。	色々な事業所や支援員さんともっと密に関わるようになるにはどのようにしていくのが最善かを検討している。	自事業所に通所してくれている支援員さんと連絡を取る回数を増やす事で色々な情報交換が出来るようにしていきます。
2	身体拘束・虐待防止・感染症等のマニュアルを策定しているが保護者に周知・共有が上手く出来ていない。	HUGシステム上でお知らせはしているが中々保護者へ繰り返しお伝えが出来ていないため明確に伝わっていない。	定期的にお知らせを流す事で全保護者に周知してもらえるように努力していきます。